

試験研究(事前)評価整理表

部 会 名 林業部会
主 務 課 森林計画課

No.	施策目標	試験・研究課題名	試験研究機関名	試験研究始期・終期		予算額 当初予算(計画)額(千円)	具体的評価項目				1次評価	部局コメント	最終評価	外部評価委員からの意見等
				始期	終期		研究ニーズ把握手法	研究計画の妥当性	研究目的の妥当性	施策目標との関連性				
1	活力と魅力ある農山漁村の創生(森林の持つ多面的機能の維持・発揮)	ドローン空撮画像を用いたナラ枯れ被害木の早期発見方法の開発	林業研究センター	R6	R8	2,727	A	A	A	A	A	ナラ枯れを省力的かつ迅速に把握し、森林の公益機能を保全するために必要な研究であり、緊急性も高いことから積極的に実施すべきである。	A	・緊急性、必要性が高い課題であり、迅速な研究の進捗が望まれる。 ・枯死木の特定に比べ、穿入生残木の特定は困難と予測され、その特定の可否が研究成果のポイントになると思われる。先行研究の結果を評価してその後の研究計画を検討すれば、効率的な研究が期待できる。
2	林業・木材産業の振興(県産農林産物の競争力を強化するための、「ふくしま」ならではの価値向上に資する品種開発等の推進)	クロモジの持続的利用技術の実用化に関する研究	林業研究センター	R6	R8	4,725	A	A	A	A	A	資源枯渇が問題視され対策が望まれており、これまでの知見を踏まえ実用化するためには、南会津地域と連携を図りながら積極的に実施すべきである。	A	・3年の期間で萌芽数の評価が資源回復を正確に視標するかを判断するのは難しい。実験的な切断と合わせて、仮説を補強するために野外個体の成長パターン分類、分析が参考になるのではないか。 ・これまでの伐採による萌芽の状況を観察し、現状を把握することが重要と思う。 ・全木伐採から枝葉の収穫となるため、精油抽出量の比較や精油コスト、精油抽出技術にも取り組めると良い。
3	活力と魅力ある農山漁村の創生(森林の持つ多面的機能の維持・発揮)	海岸防災林の保育・管理に関する研究	林業研究センター	R6	R10	1,490	A	A	A	A	A	再整備された広大な海岸防災林を効率的に保育し、公益的機能を早期に発揮するよう管理するために必要な研究であり、緊急性も高いことから積極的に実施すべきである。	A	・広大な海岸防災林の管理を行うには、順応的対応が求められる。期待する公益的機能を定量化したうえで、画一的な管理ではなく、現場ごとの管理方針を決めることのできるデータ提供が必要ではないか。 ・ヤマハンノキ、ヤシヤブシ等の肥料木を補完樹種とすることは適切であるが、その効果が見られない場合を想定し、ヤナギなどを先駆植物として用い、その後の植物遷移を促進する手法を研究することも重要と考える。